

学校の教育目標 自ら学びに向かい、多様な学びの中で、自己を成長させる生徒の育成

■第3学年 学年通信:最高の「一“笑”懸命」■

- ▶仲間づくり：個性を輝かせ、思いやりがあふれる最高の仲間をつくろう！
- ▶学習：学習や行事に本気で取り組み、最高の未来をつかもう！
- ▶生活：最高の3年生に成長し、コミュニケーション力をUPしよう！

9/24(木)は…

- ・世界ゴリラの日
- ・海藻サラダの日
- ・みんなでつくろう
省エネの日

教科の先生から

⑦目指せ!!



社会

▶教科書・地図帳の活用

地理の勉強とは言っても、世界旅行をするわけにはいきません。

そこで、「教科書の中」でぐるっ~と回ってみましょう。

教科書にはたくさんのデータ(写真・地図・グラフ)が載っています。必ず、新しい発見があるはずです。この貴重なデータを無駄にはできません。

入試では、グラフや表の読み取り問題が必ず出題されています。地図帳と一緒に見ていけば、効果が倍増しますよ。

私は、中学生~高校生のころ、トイレに「地理の教科書と地図帳」を置いていて、用をするときの数分間で、世界旅行をしていましたー。

社会科 池田友則

■「地理」の教科書■

写真	300 以上
地図	150 以上
グラフ	150 以上
略図	20 以上
表	10 以上

今、愛知県名古屋市を中心に行われているアジア競技大会を知っていますか？日本で開催されるのは、1994年の広島大会以来32年ぶりです。アジア各国・地域のトップアスリートが集まり、さまざまな競技が繰り広げられています。

私が注目しているのは、

男子「走高跳」の赤松諒一選手です(瓜生の推し♡)

自己ベスト：2m31cm。2024年のパリオリンピックでは5位入賞を果たした日本を代表する選手です。



ちょうど今、3年生は、保健体育で「走高跳」に取り組んでいますね。実際にやってみると、バーが少し高くなるだけで難しさが大きく増すことに気づくでしょう。

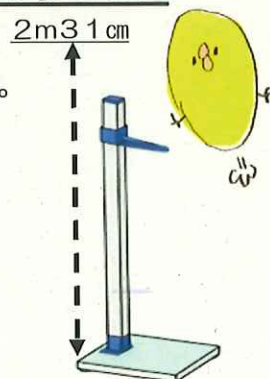
だからこそ、2mを超える高さに挑み続ける選手たちのすごさに驚かされます。

私は、「走高跳」という競技を不思議だと思っています。速さを競うわけでも、遠さを競うわけでもなく、ただ「より高く」を目指します。人は空を飛べないのに、選手たちは自分の身長を超える高さへ挑戦し続けます。その姿は、人間の限界への挑戦のようにも見えます。

ちなみに、赤松諒一選手の2m31cmという記録は、保健室の身長計(2mまで)より31cmも高いものです。

身近なものと比べると、そのすごさが少し想像できるのではないのでしょうか。私はそんな「走高跳」の魅力に惹かれています。

ぜひ、アジア競技大会の「走高跳」に注目してみてください



●Tweet●



瓜生真弓